

# 道の駅南ふらの 再編整備基本方針と戦略・具体化する機能について

道の駅が抱える課題を踏まえ、活性化に向けた戦略と、さらにその戦略を実現するための機能についてまとめました。

## ■内部環境

- ・利用客数及び総売上額の伸び悩み
- ・激しい季節変動
- ・少ない交通量
- ・町内に広がる体験観光のフィールド

## ■外部環境

- ・近接する国際リゾート拠点
- ・増加するインバウンド観光客
- ・観光目的の多様化・個人化への対応
- ・地域のブランド化を牽引する拠点としての役割

- 課題1 激しい季節変動への対応  
課題2 立寄率の更なる向上  
課題3 観光消費額の向上

- 課題1 個人観光客をターゲットとした南富良野観光の拠点としての役割  
課題2 道の駅を核としたブランドイメージ向上  
課題3 外国人観光客への対応力強化

## 基本方針

南富良野の魅力を凝縮したブランド力発信拠点の形成

### 戦略1

観光消費と波及効果の拡大を目指す拠点づくり

- 個人観光客への情報発信機能の強化（町内観光スポットへの誘導、体験観光の紹介等）
- 外国人観光客への対応力強化
- 宿泊施設と連携した上質な滞在空間づくり（飲食機能、休憩機能）
- 地域の農産品・加工品の魅力を訴求するショールーム的な機能・役割の追求

### 戦略2

地域の体験観光資源と食資源を活用した独自性のあるコンテンツ戦略

- 体験観光のメッカとしてのブランド力を発信する拠点機能づくり（事業者や体験メニューの紹介、情報発信、レンタル機能等）
- 南富良野の食資源を活用したキラーコンテンツとなる道の駅グルメづくり（揚げたてポテチなど）

### 戦略3

持続的な経営を可能にする柔軟な経営体制づくり

- 季節変動に対応できる施設づくりの検討
- 需要の季節変動に対応した柔軟な経営体制の検討
- 閑散期の安定的な集客をもたらす地元客ニーズへの対応

### 機能①

宿泊施設と連携した上質な飲食機能

### 機能③

キラーコンテンツとなりうる独自性のあるテイクアウト機能

### 機能⑤

顧客層の多様化に対応可能な情報発信機能

### 機能⑦

地域資源を活用したビジネスを創出するインキュベーション機能

### 機能②

地域製品のブランド力を強化する特産品販売機能

### 機能④

需要動向を見据えた効率的な各種レンタル機能

### 機能⑥

体験観光の拠点としての役割も備えた休憩機能

### 機能⑧

地域を取り巻く公共交通網の変化を踏まえた公共交通の拠点機能

# 各機能のイメージ（その1）

## 施設の外観・内観

○「アウトドアライフ」を想起させる南富良野のイメージに調和した自然素材を活用した施設デザイン

### <方針>

- ・ ラフティングやカヌーなど南富良野のアクティビティを想起させる外観
- ・ 林業のまちらしい木や石など自然素材をふんだんに利用した暖かみのある内装

### <施設イメージ>



カリフォルニア・ヨセミテ国立公園

## ① 宿泊施設との連携も視野に入れた上質な飲食機能

○「南富良野のアウトドアライフ」をテーマとした瀟洒（しょうしゃ）で遊び心のある飲食機能

### <方針>

- ・ 「なんぷ〜香房」と連携したパン類の提供
- ・ 地元飲食店と競合しない分野のメニュー
- ・ 将来的には宿泊施設の朝食・夕食需要への対応も含めたメニュー構成、営業時間の検討

### <施設イメージ>



道の駅「ピア21しほろ」

## ② 地域製品のブランド力を強化する特産品販売機能

○南富良野への来訪者に地域製品のブランドイメージを高める効果をもたらす上質さを備えた空間づくり

### <方針>

- ・ 南富良野の地域ブランドの形成を高めるような空間デザイン
- ・ 閑散期における運営コストの最小化を目指し、テイクアウト機能や観光案内機能と一体となったレジ機能の構築（窓口の一体化）
- ・ 繁忙期と閑散期の変動の大きさに対応した売場構成（繁忙期のみ稼働スペースの検討）

### <施設イメージ>



道の駅「阿寒丹頂の里」

## ③ 独自性のあるテイクアウト機能

○「南富良野ならではの」強みを活かしたテイクアウト機能の検討

### <方針>

- ・ 地元飲食店と連携した調理メニュー（ベグルサンド等）の提供
- ・ コロケやポテトチップスなどを活用したわざわざ食べに行きたくなる目的型の商品の提供

### <施設イメージ>



道の駅「なないろななえ」

## ④ 需要動向を踏まえた効率的な各種レンタル機能

○立地条件を踏まえた現実的かつ効率的なレンタル機能の確保

### <方針>

- ・ アウトドア市場や体験型観光需要者の行動特性などを踏まえ、必要最小限のレンタル機能を確認
- ・ 需要動向などを踏まえて段階的な機能の拡充を検討
- ・ 将来的にはアウトドアショップとの連携も検討

### <施設イメージ>



道の駅「自然体感しむかつぶ」

# 各機能のイメージ（その2）

## ⑤ 体験観光の拠点となる情報発信及びカウンター機能

○国内有数の体験型観光のフィールドであることを国内外からの訪問客に積極的に発信する機能を検討

### <方針>

- ・ 南富良野で展開されるアウトドアアクティビティや事業者の情報を積極的に情報発信
- ・ パンフレット等の配布による情報提供のほか、他の機能等と一体となった窓口対応を行う（販売機能と一体となったカウンター・精算機能の設置）
- ・ 施設・店舗の情報がネット上でもすぐに見つけられるよう情報の一元化



北陸新幹線飯山駅アクティビティセンター

## ⑥ 来訪者の交流拠点としての役割も備えた休憩機能

○来訪者の交流や公共交通の待合スペースなど多様なニーズに対応できる複合的な休憩機能の実現

### <方針>

- ・ 空間の有効活用を目指した休憩スペースの複合化
- ・ 体験型観光の待合スペースとしての機能の検討（参加者相互の交流、ウェルカムドリンクの提供等）
- ・ 公共交通の待合スペースとしての機能の検討（切符販売機能、時刻表閲覧）



道の駅「みそぎの郷きこない」

## ⑦ 地域資源を活用したビジネスを創出するインキュベーション機能

○雇用の創出や事業機会の拡大を目指したインキュベーション機能の検討

### <方針>

- ・ 季節変動の大きい地域特性を踏まえ、オンシーズンのみの営業も可能な柔軟なフードコート機能
- ・ 参入事業者にとっての初期投資が少なくなる工夫
- ・ 将来的な店舗の独立・展開も考慮し、頻繁な店舗の入れ替えにも対応できる工夫



道の駅「あっさぶ」

## ⑧ 公共交通の拠点機能

○公共交通機関の利用促進と利用者の利便性向上を図るゆとりある交通拠点の形成

### <方針>

- ・ 公共交通の拠点となるよう、都市間バスの停留所とする
- ・ バス待ち環境の改善と、乗降時の立ち寄りポイントとして待合室とカフェ等を兼用する



道の駅「おこっぺ」

## 参考 民間事業者との連携による魅力向上策検討

○アウトドアショップや宿泊施設などブランド力のある民間事業者との連携可能性検討

### <方針>

- ・ 道の駅内の敷地を活用して、ブランド力のある民間事業者の誘致を検討



道の駅 ひがしかわ道草館に隣接するアウトドアショップ

# ゾーニング計画

各機能を踏まえた配置計画について検討しました。

## ゾーニングの考え方

### ■ゾーニング検討にあたっての基本方針

- ・ゾーニングの検討にあたっては、以下のような基本方針を設定する。
  - 施設の運営効率や拠点性の向上
  - 東側（既存）と西側の役割分担の明確化
  - 整備段階毎の役割の明確化

### ■ゾーニング検討

- ・東側敷地に初期段階で整備するあらゆる機能を集中させるとともに、民間事業者を含めた多様な事業者の事業展開を育成する場を形成する。
- ・西側敷地は、繁忙期（夏期の休日等）における臨時駐車場やテナント用地としての役割を果たすと同時に、東側敷地で事業を展開する事業者が将来的にさらなる事業の展開・拡大を図る場としての役割を果たす。

西側→住民の利用を中心

繁忙期における臨時駐車場及びイベント、臨時テナント用地としての機能

町民の憩いの場としての公園機能（親水機能、木製アスレチック等）

道の駅で育成された多様なビジネス・サービスをベースに、民間事業者が主体となって展開するための用地

町内の商業機能の低下に備えた商業施設用地の確保

東側（既存）→来訪者の利用を中心

機能① 宿泊施設との連携も視野に入れた上質な飲食機能

機能⑤ 体験観光の拠点となる情報発信及びカウンター機能

機能② 地域産品のブランド力を強化する特産品販売機能

機能⑥ 来訪者の交流拠点としての役割も備えた休憩機能

機能③ 独自性のあるテイクアウト機能

機能⑦ 地域資源を活用したビジネスを創出するインキュベーション機能

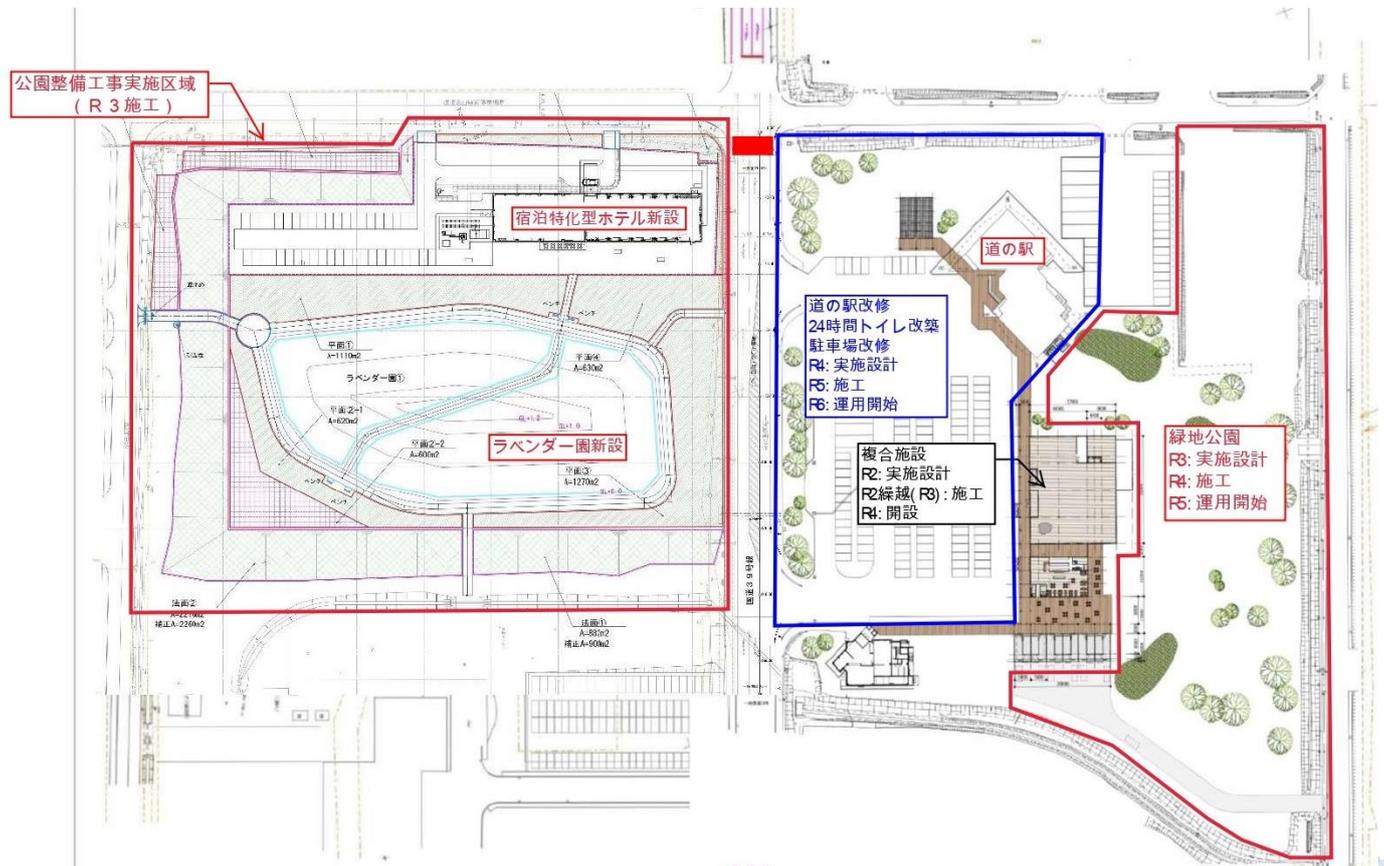
機能④ 需要動向を見据えた効率的な各種レンタル機能

機能⑧ 公共交通の拠点機能

## 施設ゾーニング計画

### Concept

現施設を極力活用しながら駐車場に沿って効率的に機能を配置



# 道の駅を核としたまちの賑わい拠点施設整備事業 【新たな複合施設整備】

令和2年度 第3次補正予算 地方創生拠点整備交付金（内閣府） 採択事業

## 事業背景

- ・町の**人口**が昭和40年の11,029人(最多)から2020年12月末には2,385人まで**大幅に減少**（8,644人減、78%減）
- ・地域社会の存続に向けて、**一刻も早い人口減少対策が急務**な状況。
- ・まちに賑わいを取り戻すための稼ぐ重要な観光入込については、南富良野町への**観光客は日帰り客が92.2%と多く**明らかな**通過型**で、また、**道内客が77.6%と稼ぐための観光消費**が大きい**宿泊客**や**道外客が誘客できていない**。
- ・**自然環境**、自然**体験型観光メニュー**、アウトドア**ガイド（人材）**に**恵まれた地域**であるが、**PR不足**、**営業力不足**、多数客対応時に必要な**事業者同士の協調性が薄く**、他地域にはない差別化できる**地域特性を活用できていない**。

## 事業概要

- ・誘客するため、年間30万人が来場の町最大の誘客施設である**道の駅**と特徴的な地域資源の**アウトドア環境を活用**
- ・国内屈指の**アウトドアメーカー**、**地元アウトドア事業者**、**地域の食提供事業者**の**連携**した誘客事業を展開
- ・新たな誘客施設として、**北海道最大級のアウトドアショップ、レストラン、フードコートを整備**する。  
内訳：販売施設（アウトドアショップ）、飲食店舗（レストラン）、屋外型飲食店舗（フードコート）、休憩所（テラス）
- ・新たな**雇用創出**、**労働人口の流入**、**交流・関係**・**定住人口増**につなげる。
- ・現在の**道の駅**を通過型から**目的地型**へ、賑わいの拠点へと変化させ**年間40万人の誘客**を目指す

## 事業目的

- ・現状のままでは地域経済や町財政にも大きな影響を及ぼし、**町の存立に関わる極めて深刻な人口減少問題に歯止めをかける**。